

センター助成制度（令和5年度）

研究代表者：林浩之

分担研究者：富山直輝，大古拓史，加藤彩菜

課題：有酸素運動による脳由来神経養因子産生を基盤とした脳卒中後の注意機能低下へのアプローチ

研究目的・意義

本研究では有酸素運動による BDNF 産生に基づく神経可塑性に着目し、①脳卒中患者における有酸素運動による注意機能向上と BDNF 量の動態、②注意機能向上による日常生活活動汎化について臨床実践で探索する。

スタートアップ助成制度（令和5年度）

研究者	研究課題
武村和正(経営学部教授)	ファイナンスの知見にもとづく財政実態の検証とソブリン・ファイナンスの評価手法の発展
岡室美恵子(経営学部准教授)	資源国の GVC 参加構造の高度化と資源輸出入戦略-資源の呪い克服に向けて